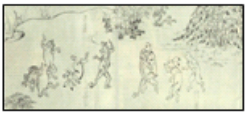




めあて

絵と文を照らし合わせながら、筆者のものの見方を読み取る。

						絵
全体		部分		全体		場所
<p>④この絵は、くもりのあついで、右から左へと時間がたつて、場面が変化する。</p> <p>④この絵は、『鳥獣戯画』の「鳥獣戯画」の一場面である。</p> <p>④この絵は、『鳥獣戯画』の「鳥獣戯画」の一場面である。</p> <p>④この絵は、『鳥獣戯画』の「鳥獣戯画」の一場面である。</p> <p>④この絵は、『鳥獣戯画』の「鳥獣戯画」の一場面である。</p>		<p>④この絵は、『鳥獣戯画』の「鳥獣戯画」の一場面である。</p> <p>④この絵は、『鳥獣戯画』の「鳥獣戯画」の一場面である。</p> <p>④この絵は、『鳥獣戯画』の「鳥獣戯画」の一場面である。</p> <p>④この絵は、『鳥獣戯画』の「鳥獣戯画」の一場面である。</p>		<p>④この絵は、『鳥獣戯画』の「鳥獣戯画」の一場面である。</p> <p>④この絵は、『鳥獣戯画』の「鳥獣戯画」の一場面である。</p> <p>④この絵は、『鳥獣戯画』の「鳥獣戯画」の一場面である。</p> <p>④この絵は、『鳥獣戯画』の「鳥獣戯画」の一場面である。</p>		形式・段落と教材本文の箇所
<p>④この絵は、『鳥獣戯画』の「鳥獣戯画」の一場面である。</p> <p>④この絵は、『鳥獣戯画』の「鳥獣戯画」の一場面である。</p> <p>④この絵は、『鳥獣戯画』の「鳥獣戯画」の一場面である。</p> <p>④この絵は、『鳥獣戯画』の「鳥獣戯画」の一場面である。</p> <p>④この絵は、『鳥獣戯画』の「鳥獣戯画」の一場面である。</p>		<p>④この絵は、『鳥獣戯画』の「鳥獣戯画」の一場面である。</p> <p>④この絵は、『鳥獣戯画』の「鳥獣戯画」の一場面である。</p> <p>④この絵は、『鳥獣戯画』の「鳥獣戯画」の一場面である。</p> <p>④この絵は、『鳥獣戯画』の「鳥獣戯画」の一場面である。</p>		<p>④この絵は、『鳥獣戯画』の「鳥獣戯画」の一場面である。</p> <p>④この絵は、『鳥獣戯画』の「鳥獣戯画」の一場面である。</p> <p>④この絵は、『鳥獣戯画』の「鳥獣戯画」の一場面である。</p> <p>④この絵は、『鳥獣戯画』の「鳥獣戯画」の一場面である。</p>		筆者が着目している所
<p>④この絵は、『鳥獣戯画』の「鳥獣戯画」の一場面である。</p> <p>④この絵は、『鳥獣戯画』の「鳥獣戯画」の一場面である。</p> <p>④この絵は、『鳥獣戯画』の「鳥獣戯画」の一場面である。</p> <p>④この絵は、『鳥獣戯画』の「鳥獣戯画」の一場面である。</p>		<p>④この絵は、『鳥獣戯画』の「鳥獣戯画」の一場面である。</p> <p>④この絵は、『鳥獣戯画』の「鳥獣戯画」の一場面である。</p> <p>④この絵は、『鳥獣戯画』の「鳥獣戯画」の一場面である。</p> <p>④この絵は、『鳥獣戯画』の「鳥獣戯画」の一場面である。</p>		<p>④この絵は、『鳥獣戯画』の「鳥獣戯画」の一場面である。</p> <p>④この絵は、『鳥獣戯画』の「鳥獣戯画」の一場面である。</p> <p>④この絵は、『鳥獣戯画』の「鳥獣戯画」の一場面である。</p> <p>④この絵は、『鳥獣戯画』の「鳥獣戯画」の一場面である。</p>		評価を表す言葉

○筆者のものの見方

- ・部分をくわしく見たり、絵全体を見たりする。
- ・線や形に着目している。など

※児童の発言に合わせて板書します。

【2 / 9 時間目 指導略案】 使用するワークシート『鳥獣戯画』を読む②

※ A 3 版に拡大してご利用ください。

絵と文を照らし合わせながら、筆者のものの見方を読み取らせる。

1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。

- 学習計画表を提示し、筆者の絵の見方について学ぶことを確認させる。

2 ワークシートを用いて、段落ごとに色分けをし、絵と文を線でつなぐ。

- 色鉛筆を準備させ、段落ごとに書き出しの文章を色鉛筆を使って囲ませる。文章に合う絵の部分と同じ色で囲み、線で結ばせる。

※ この活動をさせることで、絵のどの部分について書かれたことなのかを視覚的に捉えることができるようになります。また、全体を見たり部分を見たりしていることも気付かせることができます。

3 取り上げた部分の何に着目しているのかをワークシートに整理する。

- 全員が活動に取り組めるように、第一、二段落を使って見付け方を確認させる。
- ワークシートの「筆者が着目している所」に記入させる。
- 整理できない児童には、教材文にサイドラインを引いてから書き出すとよいことを助言する。

○ 何に着目しているのか、整理したことをグループで交流させる。

※ 交流させることで、見付けられなかったところを補うことができます。

4 筆者のものの見方で気付いたことをワークシートに書く。

- どういう絵の見方をすれば解説文が書けるのかを考えながら書かせる。
 - ・部分をくわしく見たり、絵全体を見たりするとよい
 - ・描かれている線や形などに着目するとよい
- など

評価 絵と文を照らし合わせながら、筆者のものの見方を読み取っている。(読ウ)

5 本時の振り返りをして次時の学習を確認する。

- 次時は、どんな言葉を使って『鳥獣戯画』のよさを伝えているのかを読み取ることを知らせる。